

1

文法に即して正しく文を組み立てる能力
前置詞・接続詞の用法を理解して運用する能力
関係副詞の用法を理解して運用する能力
基本語彙の意味を把握して運用する能力
長文の内容を理解する能力

2

指示表現を適切に理解し照応関係を把握する能力
長文の文脈を理解する能力
基本構文を運用する能力
基本語彙の意味を把握して運用する能力
英文の意味を把握して日本語に訳す能力

3

指示表現を適切に理解し照応関係を把握する能力
基本語彙の意味を把握して運用する能力
文法に即して正しく文を組み立てる能力
英文の意味を把握して日本語に訳す能力
長文の内容を理解する能力

4

簡単な英語を使って自身の意見を論理立てて表現する能力

令和 8 年度入学試験の国語の問題は、2 つの大問から構成されています。
大問 1 は現代語の評論文、大問 2 は古語を一部含む現代語の評論文を題材にして、高等学校までに培われた、①文章読解力、②文章構成力、③語彙力、④漢字の読み書き能力、⑤古文の基礎的知識、について評価します。また、いずれの大問でも、①筆者が展開する主張の筋を正確にとらえられているか、②文中の語句や説明が互いにどのような関係にあるかをきちんと理解できているか、が重要な評価基準となります。

1

問 1

- 高次不等式の解法を理解しているか。
- 因数定理を用いて多項式を因数分解し、整数の大小関係を正しく判断できるか。

問 2

- 確率の基本的な計算（積の法則）を理解しているか。
- 「余事象」や「特定の条件が先に満たされる確率」などの試行のプロセスを論理的に考察できるか。

問 3

- 導関数の定義を正しく理解し、定義式に基づいた計算ができるか。

2

問 1

- 直角三角形における三平方の定理を理解し、辺の長さを正しく求められるか。

問 2

- 円に内接する四角形や、三角形の相似・計量に関する性質を理解しているか。
- 図形の性質を利用して、指定された線分の長さを導出できるか。

問 3

- 複数の図形（三角形や台形など）の面積公式を理解し、それらを組み合わせで四角形の面積を算出できるか。

3

問 1

- 集合の概念（和集合）と、倍数の個数の求め方を理解しているか。

問 2

- 補集合や差集合の考え方をを用いて、特定の条件を満たす整数の個数を正確に数え上げられるか。

問 3

- ド・モルガンの法則など、集合の基礎的な性質を理解しているか。

4

問 1

- 関数の増減（微分）を利用して、方程式の実数解の個数を論理的に導き出せるか。

問 2

- 定数を含む方程式において、グラフの共有点の個数として問題を捉え、定数の値による場合分けができるか。